



デートDVとは？ デートDVはDVとどこが違うの？

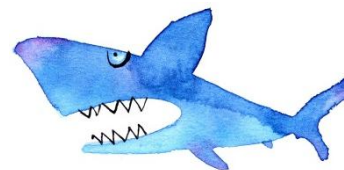
What's "DATE DV" ?

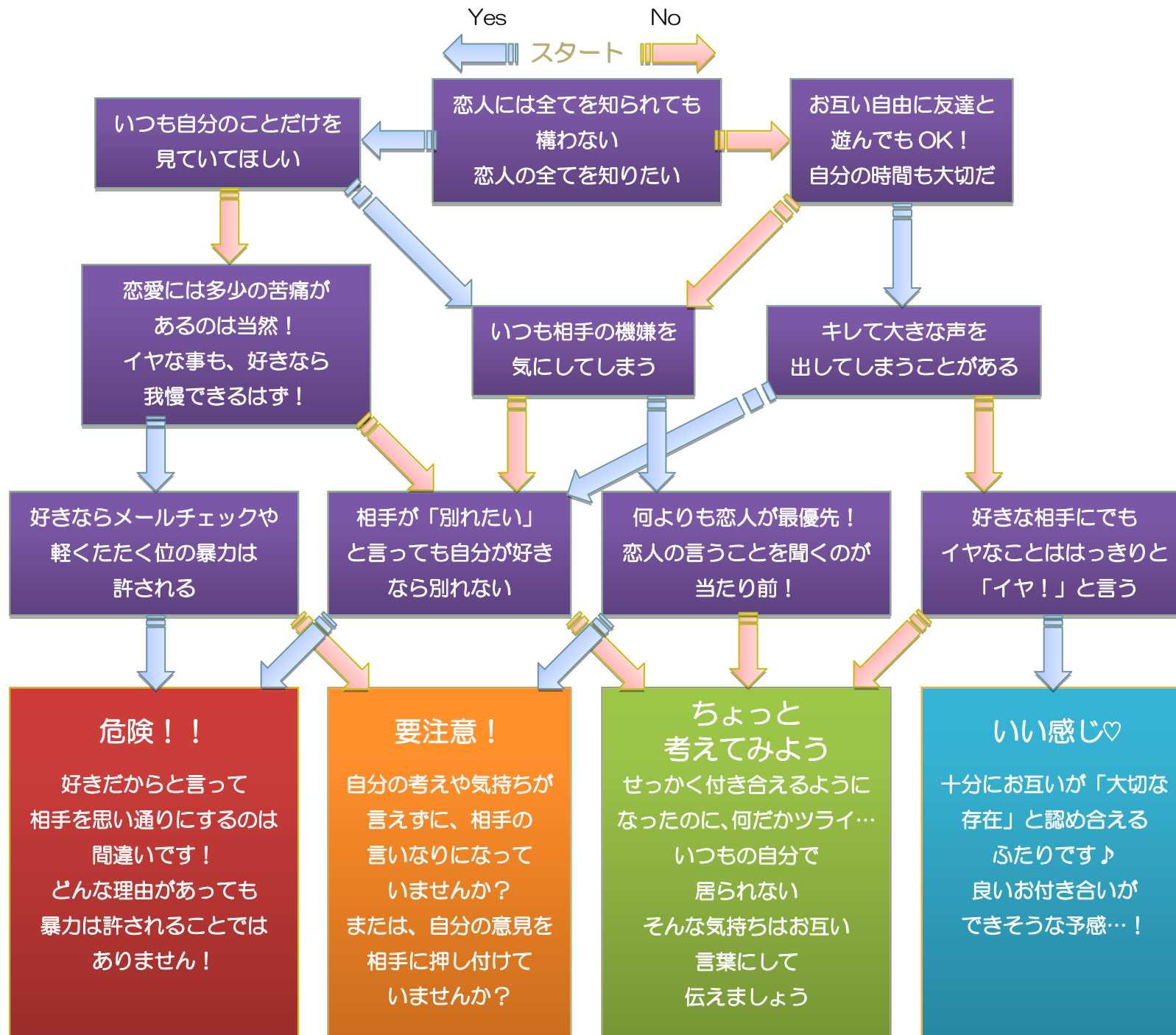
デートDVとはー

DVとは、「ドメスティック・バイオレンス」の略で、「親密な男女間でおきる暴力」のことです。結婚している配偶者間でおきることが多いと言われますが、若い恋人関係の間でもおこり、これを「デートDV」と呼びます。被害者の多くの場合が女性ですが、男性が被害者となる場合もあります。

あなたや、あなたの身近な人に被害を受けているような心当たりがあれば、是非『ぱあとなー』にご相談ください。

下記チェックシートでデートDVの危険度を確認してみてください。





Q. デートDVとケンカは違うの？

A. 恋人同士のケンカは、対等な立場で意見をぶつけ合うことです。一方、デートDVとはどちらかから一方的に加えられる暴力です。相手を支配するための手段として、暴力をふるいます。

Q. 好きになったら相手を束縛するのは当然？

A. 過度の束縛は、相手を自分の「モノ」とみなす所有欲・支配欲に他なりません。私たちは誰もが独立した人格を持っています。その中で、相手を束縛することは相手の人格を損なうものです。恋人を大切にすることと、恋人を束縛し支配することは違います。

Q. 暴力をふるわれる側にも問題があるの？

A. 加害者は、自分を正当化するために、暴力をふるう理由を「お前が悪いからだ」などと言って被害者のせいにしたり、暴力を「たいしたことない」と過小評価したりします。しかし、どんな理由があっても暴力は許されるものではありません。

Q. デートDVの加害者はどんな人？

A. 加害者は、年齢・職業・収入・学歴などに関係がなく特定のタイプはありません。
普段から言動が乱暴な人もいれば、人当たりがよく社会的にも信用があり、とても暴力をふるっているとは考えられない人もいることから、被害を訴えても周囲が事実を信じないことさえあります。

Q. 相手の携帯電話を勝手に見ることはいけないことなの？

A. それはプライバシーの侵害で、恋人同士の間でもしてはいけないことです。
何か気になっている時は、相手を疑ったり攻撃したりせずに、率直に自分の気持ちを伝えて、相手の気持ちを聞くことが大切です。

Q. イヤなのにエッチをする人がいるの？

A. 付き合う＝エッチをする、と思い込んでいる人がとっても多いですが、そうではありません。
私たちは、自分がどうしたいかは自分で決める権利を持っていて、イヤなときは「イヤ！」と言っていいのです。
本当に相手を大切にすることは、相手の気持ちを尊重することでもあります。

Q. デートDVの被害者はどうして逃げないの？

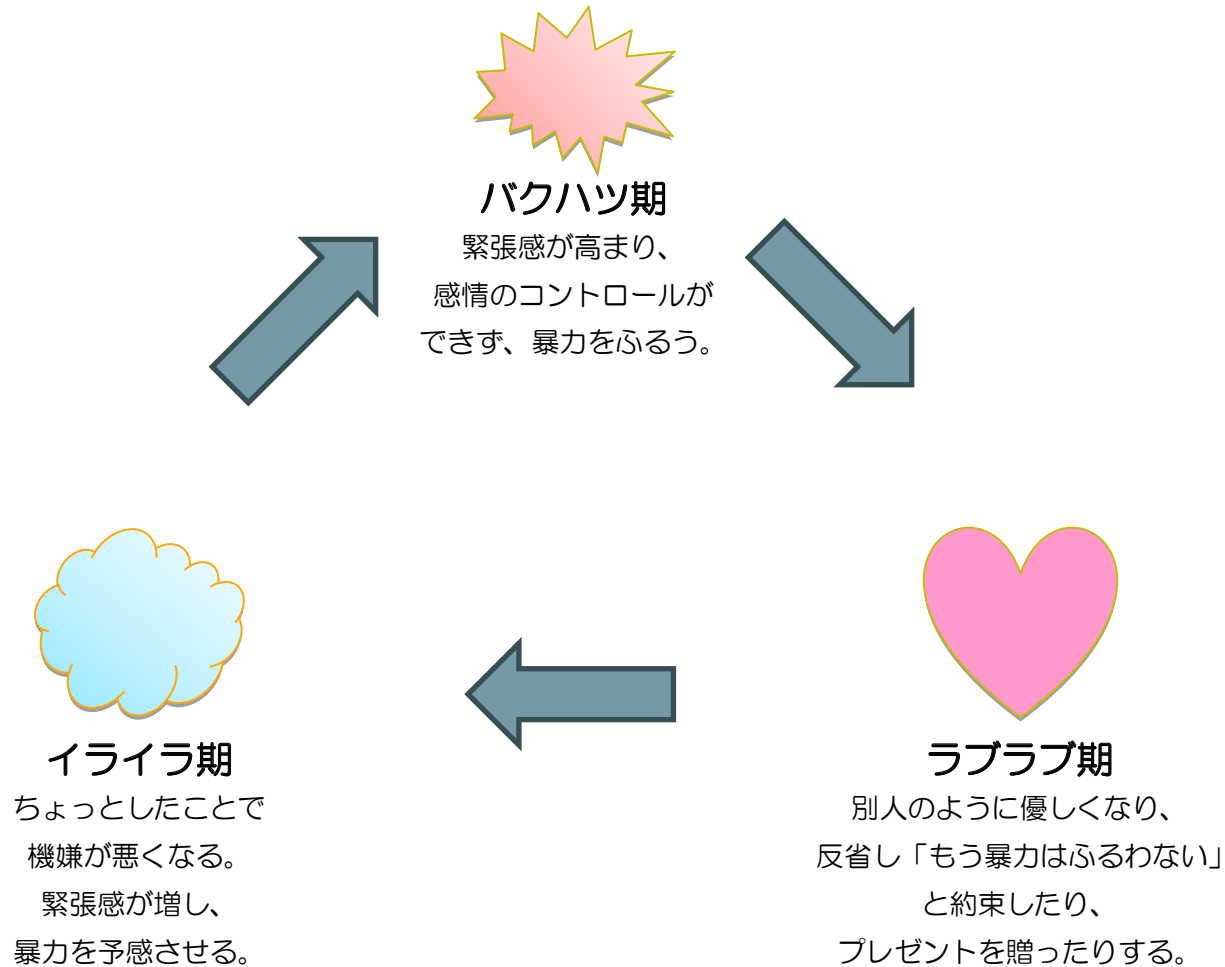
A. 被害者は「逃げると更にひどい暴力をうけるのではないか」「殺されるかもしれない」という恐怖感を持っていたり、毎日暴力をふるわれ続けることにより、「ツライ」という感覚がマヒしていたりします。また、加害者は暴力をふるった後に、優しく振る舞ったり、「殴ったりして悪かった」と謝ってプレゼントを贈ったりするため、被害者は「いつか相手は変わってくれるのではないか」という期待を抱いてしまいます。しかし、多くの加害者は暴力を繰り返すため、被害者はデートDVから逃れることが難しくなっているのが現状です。

Q. 付き合うようになったら、ふたりの気持ちや考えは同じでなければならないの？

A. ふたりとも別々の考えや好みがあって当たり前です。自分が嫌な思いをしてまで、無理に相手に合わせようとしなくてもいいんです。自分とは違う考えや気持ちや好みを持つ相手から、刺激を受け学べることもたくさんありますよ。

暴力のサイクル

暴力には下のようなサイクルがあります。
イライラ期・バクハツ期・ラブラブ期を繰り返していくうちに、
どんどん暴力や暴言がエスカレートしていくこともあります。



チェックリスト

- 殴られたり、蹴られたり、髪の毛を引っぱられたりする。
- 暴力をふるわれたとき、相手から「(あなたが) 怒らせるようなことを言ったからだ！」などと責められる。
- 相手の機嫌を損ねることを恐れ、要求を受け入れてしまう。
- 相手とのケンカの原因は自分のせいだと悩んでいる。
- 「バカ」「デブ」「ブス」など、馬鹿にしたようなことを言われる。
- 異性の友だちと仲良くしていると責められる。
- 携帯電話のメールや通話履歴などをチェックされる。
- 電話に出なかったり、メールの返信が遅れると怒られる。
- 友だちのメールアドレスを消される。
- 他の用事で会えないと、ふてくされたり怒ったりする。
- 別れようとする（言う）と「つきまとしてやる」「自殺する」などと脅される。
- 嫌がっているのに、キスやエッチを強要される。
- 「お金をくれ」と言われたり、高価な物を買うように言われる（買わされる）。
- 自分の予定や行動を、いつも相手に監視・束縛されている。

ここに挙げたのは、デート DV のほんの一例です。

相手を「怖い」と感じたら、それはデート DV ではないか？と考えましょう。

相手を大切にすることは、言いなりになる／させることではありません。